

館報

第 26 号



2020

Shizuoka City Toro Museum

静岡市立登呂博物館

目次

1	基本理念・沿革	
1-1	基本理念	3
1-2	沿革	4
2	概要	
2-1	登呂博物館	6
2-2	登呂遺跡	6
3	管理運営	
3-1	利用状況	7
3-2	利用者数詳細	7
3-3	入館者数推移	8
3-4	観覧者数推移(リニューアル後)	8
3-5	体験学習等利用状況	9
3-6	組織	10
3-7	予算・決算	11
4	展示	
4-1	春季企画展「石をつかった、土器をつくった。ー静岡市の旧石器・縄文時代ー」	13
4-2	夏季企画展「FIRE」	15
4-3	秋季企画展「芹沢銈介と考古(学)」	17
4-4	冬季企画展「古墳のきらめき 賤機山古墳展」	19
4-5	令和2年度春季企画展「お米づくり、はじめました。ー静岡市の弥生時代ー」	21
4-6	特別展・企画展開催実績(リニューアル後)	23
4-7	通常展示	24
5	保存活用	
5-1	修理事業	25
5-2	資料貸出	26
5-3	寄贈	26
6	教育普及	
6-1	主催事業	27
6-2	共催・連携事業	32
6-3	講師派遣・出張講座	34
7	職場体験・博物館実習等	
7-1	職場体験	36
7-2	視察等受入	36
7-3	博物館実習	36
8	広報	
8-1	広報印刷物	37
8-2	ウェブサイト・SNS	38
8-3	報道・広告等	39
8-4	トロペー	41
9	その他	
9-1	博物館ボランティア	43
9-2	博物館協議会	45
10	利用案内	47

1 基本理念・沿革

1-1 基本理念

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として昭和47年に開館し、平成22年10月にリニューアルオープンしました。リニューアルに際し策定された「建替基本構想」（平成18年3月）では次のとおり基本理念が定められました。

基本方針

登呂遺跡は、特別史跡として貴重な国家的文化遺産であり、静岡市を代表する文化的シンボルであります。新たな博物館は、この登呂遺跡と一体化した遺跡博物館になることを目指し、登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努めます。

また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた稲作農耕文化とその発掘調査がもたらした意義を博物館活動の中心テーマに据え、博物館の内外でさまざまな活動を展開します。

そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感を持って学ぶことができる場となり、人々の活気にあふれる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たします。

役割と使命

- 1 登呂遺跡と一体化した遺跡博物館
- 2 稲作農耕文化に関する調査・研究の拠点
- 3 登呂遺跡の発掘調査がもたらした意義の継承
- 4 情報の収集と発信、ネットワーク化の推進
- 5 楽しく・豊かに・実感できる学びの創出
- 6 学校教育との連携・生涯学習への支援
- 7 「登呂学」の創造を通じた集いと交流の促進



また、博物館リニューアルに先立ち、登呂遺跡については、平成7年3月に有識者委員会によって「特別史跡登呂遺跡保存整備基本計画」が策定され、平成11年度から15年度にかけて再発掘調査が行われました。

そして、再発掘調査の結果を基にして「特別史跡登呂遺跡再整備基本設計」が平成17年3月に策定され、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われました。

「基本設計」では再整備の目的・方針について、次のように定められています。

整備の目的

登呂遺跡は、今日までつづく日本の農耕文化の初期段階（弥生時代の実態をしめし、弥生時代の社会の様子を学ぶことのできる貴重な遺跡である。そうした登呂遺跡の特徴を良好に保存しつつ、正しく理解し、継続的な遺跡空間の活用を図る。また、地域住民に親しまれ、活かされることで、地域の誇りとして長く受け継がれていく遺跡となるようにする。

1. 登呂遺跡を正しく理解するために、遺構の精密な検討をもとに復元的に整備を行う。
2. 史跡整備の先駆として、常に新たな体験と情報が発信できる機能を有した整備とする。

3. 地域の人々が遺跡の活用と運営に積極的に関わることができる機能と運営体制を整える。地域の人々の生活の一部としての機能を保持する。
4. 整備により整えられた機能を活かし、継続的に保存・活用して行くための運営体制の充実を図る。

整備方針

学術的な成果に基づいて復原整備を行うと共に、より多くの人々が関わりを持てる遺跡となるようにするため、活用を中心として運営が行えるように整備を行う。また、現在の登呂遺跡は都市公園としても位置付けられ、災害時の広域避難地にも利用されることから、都市公園としての機能も含んだ整備とする。

1. 盛土等により、遺構の保存を図った上で活用を行う。
2. 住居域と水田域を一体として感じられる空間として整備を行う。
3. 体験を重視した遺跡運営を継続的に行うことのできる整備とする。
4. 遺跡のエントランス機能と体験・情報発信の中心として博物館を充実させるとともに、遺跡公園と博物館の一体化を図り整備を行う。
5. 遺跡公園としての復元的空間表現を重視した整備とするとともに、従来の都市公園的機能を取り入れる。(都市公園としての機能は遺跡外周部に集約する。)

1-2 沿革

昭和 18 年 (1943)	1 月	軍需工場建設の際、遺跡が発見される
	7 月 11 日	「登呂遺跡発見」の新聞報道 (毎日新聞静岡版)
	8~9 月	静岡県による第一次発掘調査
昭和 20 年 (1945)	6 月 20 日	静岡大空襲。調査記録・大型木製資料などが焼失
昭和 22 年 (1947)	7 月	「登呂遺跡」を正式名称に決定
	7~9 月	静岡市登呂遺跡調査会による第二次発掘調査開始 (7 月 13 日鋤入式)
	11 月	東京国立博物館にて『登呂遺跡出土品特別展』開催 (昭和 23 年にも)
昭和 23 年 (1948)	4 月	日本考古学協会発足。静岡市登呂遺跡調査会解散
昭和 23 年~25 年 (1948~50)		日本考古学協会による第三次~第五次発掘調査
昭和 24 年 (1949)	11 月	調査報告書『登呂』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 25 年 (1950)	4 月	奈良国立博物館にて 『古代農耕文化展 -登呂遺跡・瓜郷遺跡・唐古遺跡から見た-』開催
昭和 26 年 (1951)	1 月	登呂遺跡休憩所 (案内所・名物協会売店併設) 竣工
	3 月	1 号復元住居を建設
昭和 27 年 (1952)	4 月	1 号高床倉庫を建設
	3 月 29 日	国史跡に指定 (11,600 m ²)
	11 月 22 日	国特別史跡に指定 (11,600 m ²)
昭和 29 年 (1954)	9 月	調査報告書『登呂-本編-』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 30 年 (1955)	4 月	静岡考古館 開館 (各研究機関からの出土品の返還を受けて)
昭和 34 年~42 年 (1959~67)		遺跡隣接地を購入し、都市公園として整備
昭和 35 年 (1960)		地元住民が「登呂会」を結成。第一回「登呂まつり」開催
昭和 40 年 (1965)	7~8 月	東名高速道路建設に伴う静岡県文化財保存協会による第六次発掘調査
昭和 41 年 (1966)		遺跡隣接地・水田部分 (48,300 m ²) が史跡に仮指定される

昭和 43 年～47 年 (1968～72)		住居跡・森林跡・水田跡の一部・東名高架下を整備
昭和 46 年 (1971)	10 月	静岡考古館 閉館
昭和 47 年 (1972)	4 月 1 日	静岡市立登呂博物館 開館
昭和 47 年～53 年 (1972～78)		水田跡を復元整備
昭和 49 年 (1974)	2 月 20 日	天皇・皇后両陛下ご来館
昭和 53 年 (1978)	12 月 21 日	仮指定地が特別史跡に追加指定 (48,300 m ²)
昭和 56 年 (1981)	6 月	公園内に「静岡市立芹沢銈介美術館」開館
昭和 59 年 (1984)		登呂遺跡発見 40 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか)
昭和 63 年 (1988)	10 月	日本考古学協会設立 40 周年記念静岡大会 「日本における稲作農耕の起源と展開」開催
平成 2 年 (1990)	6 月	「弥生人体験クラブ」結成
平成 4 年 (1992)	10 月	静岡県浙江省友好提携 10 周年記念シンポジウム 「イネのルーツ・シンポジウム～登呂のルーツは浙江省にあり」開催
	11 月	博物館開館 20 周年式典開催
平成 5 年 (1993)		登呂遺跡発見 50 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか) 「市民水田」事業の開始
平成 6 年 (1994)	3 月	博物館リニューアル。1 階を参加体験ミュージアムとしてオープン
平成 7 年 (1995)		「博物館ボランティア」の導入
平成 11 年～15 年 (1999～2003)		登呂遺跡再発掘調査 (第 19 次～23 次調査)
平成 15 年 (2003)	11 月	登呂遺跡発見 60 周年記念シンポジウム 「弥生時代の登呂ムラと各地のムラ」開催
平成 16 年 (2004)	2 月 27 日	登呂遺跡出土品 699 点が静岡県指定文化財に指定
平成 18 年～23 年 (2006～2011)		登呂遺跡再整備
平成 19 年 (2007)	6 月 30 日	登呂博物館 閉館
平成 20 年 (2008)	9 月 13 日	第四回日本考古学協会公開講座 ～考古学から見えてきたふるさとの歴史～ 「はじまりは登呂遺跡 -弥生農村の実像を求めて-」開催
平成 21 年 (2009)		登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター「トロペー」誕生
平成 22 年 (2010)	10 月 3 日	登呂博物館リニューアルオープン
平成 23 年 (2011)	9～10 月	リニューアル一周年記念特別展 「発掘された日本列島 2011」を開催 (全国巡回展の一会場として)
平成 28 年 (2016)	8 月 17 日	登呂遺跡出土品 775 点が重要文化財に指定
	11 月	重要文化財指定記念イベント「とろエンナーレ 2016」開催
	11 月 19 日	重要文化財指定記念シンポジウム 「遺跡からみる 弥生集落のかたち」開催
平成 30 年 (2018)		重要文化財指定資料の修理事業開始
	4 月 24 日	音声ガイドの利用開始
	11 月 3 日	日本考古学協会設立 70 周年記念事業の一つとして 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」開催

2 概要

2-1 登呂博物館

(1) 開館日 昭和 47 年 4 月 1 日
リニューアルオープン 平成 22 年 10 月 3 日

(2) 建物

ア 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階

イ 面積 建築面積 1,259.64 m²

延床面積 2,296.52 m²

部門	諸室	面積(m ²)
保管	一般収蔵庫	150.05
	特別収蔵庫	25.41
	前室	19.29
展示	体験展示室	286.26
	常設展示室	211.82
	特別・企画展示室	96.90
	展示準備室	10.98
調査研究	調査研究室、写場など	65.96
教育普及	交流ホール	206.13
交流	図書コーナー、書庫など	180.55
搬入搬出	トラックヤード、荷解場	97.39
管理運営	ミュージアムショップ	26.64
	事務室	69.79

(3) 建設業者

建築設計 株式会社川口建築都市設計事務所
(現 合同会社デザイン・アープ)

展示設計 株式会社丹青社

建築工事 木内建設株式会社

電気工事 近和電業株式会社

衛生工事 大和工機株式会社

空調工事 内川工業株式会社

昇降機工事 株式会社日立製作所

展示工事 株式会社丹青社

展示情報工事 NEC ネットズエスアイ株式会社

2-2 登呂遺跡

(1) 遺跡の性格

特別史跡、都市公園(登呂公園)、一時避難地

(2) 面積

総面積 約 66,000 m²*

(うち特別史跡指定面積 59,900 m²)

*特別史跡に博物館・美術館・銈介の家を加えた面積

(3) 復元建物

ア 棟数 住居 5 棟^{※1,2}

高床倉庫 3 棟^{※1}

祭殿 1 棟

※1 各 1 棟は昭和年間に設計のもの

※2 1 棟は鉄骨造 GRC パネル貼り構造

イ 設計 昭和-関野克 平成-宮本長二郎

(4) 復元水田 面積 約 21,000 m²

(5) 再整備設計 株式会社文化財保存計画協会

(6) 管理状況

ア 遺跡、博物館等

静岡市観光交流文化局文化財課

イ 芹沢銈介美術館

静岡市観光交流文化局文化振興課

ウ 登呂公園(学びの広場、園路など)

静岡市都市局都市計画部緑地政策課、

公園整備課

エ 駐車場運営

公益財団法人するが企画観光局

営業時間 8:30 - 17:00

料金 普通車 400 円、バス 1,500 円

オ ミュージアムショップ運営

大石商店

3 管理運営

3-1 利用状況

平成 31 年度博物館利用状況 ()内は前年度の値

開館日数 304 日 (305 日)

入館者数 169,568 人 (167,796 人)

観覧者数 39,257 人 (37,425 人)

団体見学 392 団体※ (422 団体) ※減免処理した学校団体と一般団体の合計

3-2 利用者数詳細 (単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
有料観覧者数	一般	個人	1,557	2,194	809	859	2,120	845	633	751	462	832	1,112	808	12,982
		団体	31	265	68	170	30	194	124	69	43	0	114	0	1,108
		回数券	20	66	75	15	31	22	65	60	16	12	45	11	438
		助成券	17	23	4	8	10	8	3	5	4	14	13	9	118
		共通個人	337	476	252	181	453	327	341	369	87	284	315	122	3,544
		共通団体	0	2	59	55	33	3	0	0	0	0	0	0	152
	小計	1,962	3,026	1,267	1,288	2,677	1,399	1,166	1,254	612	1,142	1,599	950	18,342	
	高校・大学生	個人	101	132	30	80	222	98	28	41	32	68	85	124	1,041
		団体	0	0	0	1	0	1	6	42	0	0	0	0	50
		回数券	0	0	5	0	5	5	0	1	0	0	0	0	16
		助成券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		共通個人	6	28	4	7	21	21	39	18	0	6	15	17	182
		共通団体	0	36	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	72
	小計	107	196	39	88	248	161	73	102	32	74	100	141	1,361	
	小・中学生	個人	572	892	110	256	986	142	73	100	71	105	131	253	3,691
		団体	0	7	0	28	0	24	17	0	0	0	29	0	105
		回数券	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		助成券	1	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	9
		共通個人	25	55	13	17	74	10	6	8	3	9	16	3	239
		共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	598	962	123	303	1,062	176	96	108	74	114	176	257	4,049	
合計		2,667	4,184	1,429	1,679	3,987	1,736	1,335	1,464	718	1,330	1,875	1,348	23,752	
無料観覧者数	一般	学校行事	139	143	132	32	2	21	42	48	19	11	16	0	605
		身障者	101	141	47	98	137	89	62	110	51	84	123	40	1,083
		老年人	36	64	30	32	46	32	31	40	18	53	118	28	528
		施設	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16
		視察等	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	4
		その他	19	5	8	9	1	2	15	5	5	6	1	1	77
	小計	295	353	217	187	186	145	150	206	93	154	258	69	2,313	
	高校・大学生	学校行事	0	0	0	4	5	5	0	74	0	0	0	0	88
		身障者	1	0	2	0	4	0	1	1	0	0	6	0	15
		研究	7	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	12
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	8	0	2	4	9	5	1	80	0	0	6	0	115
	小・中学生	学校行事	3,004	3,095	2,078	560	22	332	399	802	321	163	127	0	10,903
		身障者	11	23	10	11	30	13	6	7	3	4	24	7	149
		市内	58	77	46	80	211	49	46	34	22	40	68	27	758
		キッズ	34	59	49	75	94	37	21	13	11	10	35	16	454
		幼児	66	90	41	54	160	48	107	33	23	54	90	46	812
施設		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
小計	3,174	3,344	2,224	780	517	479	579	889	380	271	344	96	13,077		
合計		3,477	3,697	2,443	971	712	629	730	1,175	473	425	608	165	15,505	
総計	観覧者	6,144	7,881	3,872	2,650	4,699	2,365	2,065	2,639	1,191	1,755	2,483	1,513	39,257	
	総入館者	20,657	27,282	15,230	12,358	21,300	12,191	11,914	12,828	6,691	8,494	11,241	9,382	169,568	

3-3 入館者数推移（単位：人）

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	27,255	18,323	10,780	14,372	16,636	14,948	102,314
23	25,094	29,751	20,176	15,028	26,905	12,557	18,758	14,290	8,486	10,523	13,019	13,026	207,613
24	24,132	27,420	14,333	13,025	23,665	13,366	15,592	13,267	7,260	10,126	13,426	14,254	189,866
25	19,688	26,403	14,434	11,286	22,603	11,489	18,326	14,561	7,424	10,418	10,285	16,210	183,127
26	22,361	28,563	13,940	11,398	25,578	12,311	18,483	13,945	4,973	8,887	10,614	12,976	184,029
27	23,132	27,869	12,493	11,638	21,821	16,666	17,429	12,150	6,821	9,691	10,397	16,329	186,436
28	24,112	29,217	12,727	12,787	21,039	10,708	16,663	13,591	7,601	9,545	10,795	16,106	184,891
29	19,882	23,605	14,930	11,352	23,020	10,145	15,195	11,274	6,562	9,129	10,139	12,358	167,591
30	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796
31(1)	20,657	27,282	15,230	12,358	21,300	12,191	11,914	12,828	6,691	8,494	11,241	9,382	169,568
リニューアル後 (H22～H31)													1,743,231
旧博物館 (S47～H19)													6,954,504
合 計													8,697,735

3-4 観覧者数推移（リニューアル後）（単位：人）

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	9,306	6,407	3,000	4,163	5,161	4,216	32,253
23	9,128	10,711	6,290	4,514	7,763	4,169	7,023	5,101	2,178	3,105	3,066	3,360	66,408
24	8,049	9,541	4,368	3,442	8,222	3,873	3,841	3,782	1,942	2,484	3,240	3,362	56,146
25	6,705	9,172	3,746	2,772	6,268	2,699	3,780	3,359	1,515	2,169	1,736	3,112	47,033
26	7,116	9,031	3,640	2,284	6,096	2,686	3,367	2,802	815	1,873	2,036	2,210	43,956
27	7,287	7,045	3,283	2,725	4,863	3,506	2,875	2,418	929	1,713	2,144	3,708	42,496
28	7,656	7,957	3,795	3,263	4,894	2,603	3,288	2,613	1,555	2,307	2,552	3,329	45,812
29	6,600	6,136	4,125	3,035	5,734	1,881	3,104	2,347	1,003	2,462	2,676	2,688	41,791
30	6,385	6,557	3,399	2,121	4,725	2,285	3,064	1,770	1,246	1,796	1,817	2,260	37,425
31(1)	6,144	7,881	3,872	2,650	4,699	2,365	2,065	2,639	1,191	1,755	2,483	1,513	39,257
合 計													452,577

3-5 体験学習等利用状況

(1) 屋外体験

- ・登呂の“ムラ人”として遺跡案内を実施
- ・体験学習(火おこし、土器炊飯)の実施と解説
火おこし：実際に着火するまでの体験
土器炊飯：台付甕形土器のレプリカを使用して登呂遺跡で栽培していた可能性がある赤米を炊飯・試食に供している
- ・「屋外体験指導員」(臨時職員：常置配置数1～4人)が対応
- ・「屋外体験指導員」の活動は、文化庁の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業国庫補助」を受けて、実施している

屋外体験参加者数(平成31年度、単位：人)

月	来場案内者	火起こし	土器炊飯
4	13,900	3,872	438
5	19,072	4,399	1,264
6	10,580	2,604	379
7	9,220	1,482	496
8	15,160	1,818	642
9	8,840	1,281	220
10	8,600	1,466	460
11	8,996	1,566	500
12	5,575	1,101	335
1	6,240	936	482
2	8,130	987	487
3	6,110	934	87
合計	120,423	22,446	5,790

(2) 弥生体験展示室

- ・体験学習(臼と杵による脱穀・穂摘み体験・貫頭衣着用・田下駄・機織り・土器パズル等)の実施及び解説、パンフレットの配布
- ・「体験指導員」(非常勤嘱託職員：常置配置数2～3人)及び博物館ボランティアが対応

体験学習参加団体及び参加者数(平成31年度)

区分	団体数	大人(人)	高・大(人)	小・中(人)
学校団体※	286	1,697	472	12,330
一般団体	213	3,236	48	2,210
合計	499	4,912	520	14,540

※「学校団体」の団体数と人数は体験指導員日誌から抽出した値

(3) 図書コーナー

- ・登呂遺跡に関する資料、全国の博物館の展示図録や発掘調査報告書・歴史専門書・こども向けの歴史関連図書を配架
- ・特別展・企画展の関連資料等を陳列
- ・こども向けぬりえコーナーの設置
- ・利用者 平成31年度：5,181人
- ・臨時職員(常置職員数1～2名)が対応
※資料・図書等の貸出は行っていない

(4) 情報・映像コーナー

- ・登呂博物館が所蔵する遺物・図書の検索
- ・市内の観光案内などの情報の提供
- ・全国の博物館や公共施設等の催事情報を提供
- ・「子ども学芸員養成講座」による展示(8月)
- ・博物館実習生による展示(8月～9月)
- ・静岡市文化財課による展示(9月)
- ・静岡県埋蔵文化財センターによる展示(10月～12月)
- ・「トロペーの博物館案内」(映像案内)を常時上映

3-6 組織

静岡市観光交流文化局

文化財課（課長 岡村渉）

- ├ 文化財保護係
- ├ 埋蔵文化財係 - 埋蔵文化財センター
- ├ 三保松原文化創造センター
- └ 登呂博物館

登呂博物館職員

職名	氏名	主な業務内容
館長(登呂遺跡担当課長)	宮本博之※	総括
主査	梶山倫裕	展示、教育普及事業、水田活用
	益田ちづる	予算決算、広報、協議会、ミュージアムショップ
主任主事	鈴木匡※	展示、教育普及事業、修理事業
	國島朋子※	展示、教育普及事業、ボランティア、学校・市民団体連携
	川口真浩	施設管理、遺跡管理、ホームページ更新
非常勤嘱託	大原裕子	庶務事務
	飯島敬三	体験展示室での体験指導
	岡村里美	団体見学者の対応
	糠谷瑞穂	教育普及事業の実施、補助
	巻田直紀	
臨時職員	4人	図書コーナーでの案内、印刷物の作成など
	4人	屋外での体験指導活動

※の職員は教育委員会事務局教育局教育総務課の併任職員

その他

博物館ボランティア 46人（平成31年4月1日時点）

受付業務委託 静岡ビル保善株式会社

ミュージアムショップ運営 大石商店

3-7 予算・決算

(1) 平成31年度歳入 ※予算額は年度当初の予算額(歳出も同様)

収入科目	予算額	決算額	備考
博物館使用料	5,900,000	5,838,013	博物館観覧料、博物館施設使用料(行政財産:電柱等)
文化財保護費補助金 (国庫補助金)	3,527,000	3,516,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (出土品保存修理事業、「登呂ムラ」発信事業)
土地貸付収入	3,104,649	3,120,582	一般土地貸付料(普通財産:駐車場土地ほか)
各種発行物売払収入	666,000	552,322	図録売払収入
社会保険料収入	0	0	臨時職員等 雇用保険料本人負担金
教室等会費収入	210,000	336,900	講座・講演会参加料
雑収	98,000	116,613	社会教育費雑入(ミュージアムショップ光熱費)
合計	13,505,649	13,480,430	

(2) 平成31年度歳出

ア 公園管理費

支出科目	予算額	決算額	備考
需用費	802,000	613,677	
光熱水費	(728,000)	(540,477)	電気・水道代
(維)修繕料	(74,000)	(73,200)	登呂遺跡北側ガイダンストイレ修繕費
委託料	779,000	490,500	北側ガイダンス施設エレベーター保守委託ほか
合計	1,581,000	1,104,177	(ア)

イ 文化財保護費

支出科目	予算額	決算額	備考
共済費	32,000	15,958	臨時職員 社会保険料
賃金	3,907,000	3,575,181	臨時職員(屋外体験指導員)賃金ほか
旅費	63,000	57,830	修理事業文化庁監督旅費
需用費	824,000	587,431	
消耗品費	(61,000)	(61,000)	水田管理用品ほか
燃料費	(12,000)	(9,674)	耕運機燃料ほか
光熱水費	(401,000)	(348,457)	電気・ガス・水道代
(維)修繕料	(350,000)	(168,300)	遺跡修繕工事費
役務費	90,000	75,226	電話代ほか
委託料	9,754,000	9,517,260	遺跡清掃、植栽、修理業務委託ほか
合計	14,670,000	13,828,886	(イ)

ウ 博物館管理運営費

支出科目	予算額	決算額	備考
報酬	8,397,000	8,292,572	協議会委員報酬・非常勤嘱託報酬
給料	23,315,000	23,211,600	博物館職員
職員手当等	14,823,000	14,696,976	
人件費計	46,535,000	46,201,148	(ウ)
共済費	42,000	39,548	臨時職員 社会保険料
賃金	3,425,000	3,102,273	臨時職員 賃金ほか
報償費	398,000	373,038	企画展関連講座、教育普及事業講師謝金ほか
旅費	515,000	138,740	展示準備関係旅費ほか
需用費	15,239,000	14,382,395	
消耗品費	(1,645,000)	(1,638,921)	一般事務及び管理用品ほか
食糧費	(3,000)	(2,700)	
印刷製本費	(2,821,000)	(2,596,826)	企画展ポスター・チラシほか
光熱水費	(7,582,000)	(7,467,872)	電気・水道代
(物)修繕料	(200,000)	(156,029)	物品等修繕料
(維)修繕料	(2,988,000)	(2,520,047)	博物館施設修繕工事費
役務費	2,013,000	1,913,077	電話代・クリーニング代ほか
委託料	26,681,000	24,737,775	施設管理のための業務委託ほか
使用料及び賃借料	634,000	458,629	コピー代ほか
備品購入費	431,000	430,876	図書購入費ほか
負担金、補助及び交付金	109,000	93,000	日本博物館協会負担金ほか
その他	9,000	8,960	賠償金
委託料(政策)	4,826,000	4,809,000	登呂博物館ホームページ作成ほか
使用料及び賃借料(政策)	3,033,000	2,838,000	収蔵品等管理システム使用料 情報システム機器リース代
物件費等計	57,355,000	53,325,311	(エ)
合計	103,890,000	99,526,459	(オ) = (ウ) + (エ)

エ 観光総務費

支出科目	予算額	決算額	備考
負担金、補助及び交付金	1,388,000	518,107	登呂まつり補助金
合計	1,388,000	518,107	(カ)

オ 歳出総計

	予算額	決算額	備考
総計	121,529,000	114,977,629	(ア) + (イ) + (オ) + (カ)

4 展示

4-1 春季企画展「石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－」

会 期：平成31年3月23日(土)～令和元年6月16日(日)
 《75日間(67日間)》
 ()内は平成31年度の日数

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第一弾。静岡県内他市の遺跡からの出土品も含め、縄文時代以前の時代と静岡市の歴史を紹介する。

観覧者：15,276人(14,359人)

一 般 6,279人(5,688人)
高 校 生・大 学 生 359人(308人)
小 学 生・中 学 生 8,638人(8,363人)
※ ()内は平成31年度のみ的人数

点 数：624点

資料協力：香芝市教育委員会 河津町教育委員会
 静岡県埋蔵文化財センター
 ふじのくに地球環境史ミュージアム

印刷物：(1) チラシ

 サイズ：A4
 数 量：48,430枚
 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

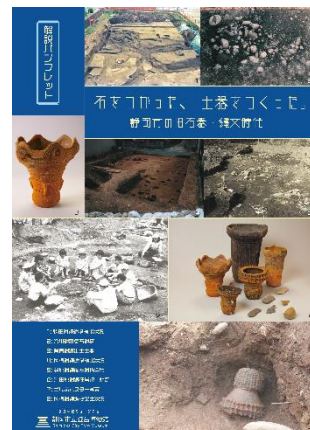
(2) ポスター

 サイズ：B2
 数 量：760枚
 紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

(3) リーフレット

 構 成：A4 8頁 中綴じ
 数 量：3,000部
 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

担当者：鈴木匡



関連事業

(1) 講演会「黒曜石はどこから来たか」

概要：旧石器時代から使われ続けた黒曜石。その利用と産地分析から、人の移動や交流など当時の社会に迫る。

日時：平成31年4月21日(日) 13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

演題：「海を渡り、山を越える縄文人」

講師：明治大学黒曜石研究センター 池谷信之

料金：100円

人数：54人(定員60人)

(2) ワークショップ「黒曜石オリンピック」

概要：鹿の角のハンマーを自作し、黒曜石などを割って、自分だけの石器をつくる。

日程：令和元年5月18日(土)、19日(日)

時間：13:00 - 16:00(18日)、10:00 - 16:00(19日)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホールほか

講師：仙台市縄文の森広場 学芸員 佐藤祐輔

ふじのくに地球環境史ミュージアム

ミュージアムインタプリター 坂田 尚子

料金：3,000円

人数：15人(定員15人、小学5年生以上)

企画：登呂会議(代表 本原令子)

(3) 展示解説

日程：3/23(土)、4/13(日)、5/4(土・祝)、6/1(土)

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：103人

広報・報道 ※平成30年度分を含む

(1) テレビ・ラジオ

・静岡市広報課製作テレビCM 民放4局 3/15(金)

(2) 新聞

・共同通信社 電話取材 3/28(木)取材

・朝日新聞 講演会告知記事 4/11(木)

・静岡新聞「深鉢形土器や石皿 古代の生活感じて」
5/19(日)

(3) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』3月号

・『すろーかる』3月号～6月号

・『すろーかる』3月号(広告)

・静岡鉄道 電車中吊り広告(3/2～3/29)



4-2 夏季企画展「FIRE」

会 期：令和元年7月13日(土)～9月8日(日)
 <<51日間>>

概 要：有史以来、人間は火を利用してきており、それは生活に不可欠のものである。登呂遺跡からも火おこしの道具が出土している。火の役割と火と人間の出土品や関係資料から辿る。



観覧者：6,697人

一 般 4,221人
 高校生・大学生 292人
 小学生・中学生 2,184人

点 数：92点

資料協力：キリンビバレッジ株式会社

(団体) 静岡県埋蔵文化財センター
 静岡市立芹沢銈介美術館 富士市教育委員会
 三島市教育委員会
 由比宿東海道あかりの博物館



印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：25,130枚

紙 質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B1、B2、A2

数 量：2枚、750枚、1,560枚

紙 質：コート紙 四六判 135kg (B1)

コート紙 四六判 110kg



担当者：國島朋子

関連事業

(1) ワークショップ「たけあかりワークショップ」

概要：「たけあかり」を作成し、登呂遺跡内で夜のたけあかりを体験する。

日時：令和元年8月4日(日) 16:30 - 19:30

会場：登呂博物館1階 交流ホール、登呂遺跡

講師：「久能山東照宮天下泰平のたけあかり」

プロデュース 大村大輔

料金：1,200円

人数：24人(定員30人)

(2) ワークショップ「火と熱のひみつ」

概要：登呂遺跡の火おこしを体験しながら、科学的な観点から火おこしに必要な条件を考える。

日時：令和元年8月31日(土) 13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：静岡科学館る・く・る

エデュケーター 織田悠希

料金：100円(1組)

人数：10組24人(定員10組20人)

(3) 「FIRE」コーヒーサービス

概要：展示会名に関連して、キリンビバレッジ株式会社から提供されたコーヒーなどを来館者に試飲サービスを行った。

日程：令和元年8月3日(土)

時間：10:00 - 11:30、12:30 - 14:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：無料

人数：261人

協力：キリンビバレッジ株式会社

(4) 展示解説

日程：7/13(土)、7/28(日)、8/25(日)、9/8(日)

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：77人

報道・広報

(1) テレビ・ラジオ

- ・FM-Hi!「ひるラジ!静岡情報館」街角レポート
7/12(金)13:35~13:45
- ・FM-Hi!「静岡ドライブインフォメーション」
『Cha!Cha!サタデー』8/3(土)

(2) 新聞

- ・静岡新聞「大自在」7/13(土)

(3) その他

- ・静岡市広報紙『静岡気分』7月号
- ・『すろーかる』7月号~9月号
- ・『すろーかる』7月号(広告)
- ・『縄文ZINE』第10号(7/13)
- ・「リビング静岡」(7/26)
- ・「SENSE 17号」(7月末)
- ・JR静岡駅構内ポスター掲出(7/1~7/28)



4-3 秋季企画展「芹沢銈介と考古(学)」

会 期：令和元年 10 月 5 日(土)～12 月 1 日(日)

≪48 日間≫

※10/12 は台風 19 号接近のため臨時休館

概 要：静岡市出身の染色家芹沢銈介は収集家としても知られており、そのコレクションには日本の考古資料も含まれている。その資料を通して、芹沢銈介のものに対するまなざしを見る。



観覧者：4,139 人

一 般 2,545 人

高校生・大学生 257 人

小学生・中学生 1,337 人

点 数：105 点



資料協力：医王寺（富士市） 株式会社新月堂
 静岡県埋蔵文化財センター
 静岡市立芹沢銈介美術館
 富士宮市教育委員会 三島市教育委員会
 焼津市教育委員会

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：19,000 枚

紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A2

数 量：700 枚、1,560 枚

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg



担当者：鈴木匡

関連事業

(1) ワークショップ「登呂の柄でハンカチを染める」

概要：染色家芹沢銈介にちなみ、登呂遺跡からの出土品の図柄を切って、型紙をつくって、染めて、オリジナルのハンカチをつくる。

日時：令和元年 11 月 3 日(日・祝) 10:00 - 15:00

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール
増田あいぜん工房

講師：増田あいぜん工房 増田美佳

料金：2,000 円

人数：8 人 (定員 15 人)

・『すろーかる』10月号 (広告)

・「リビング静岡」(9/27)



(2) 講演会「芹沢銈介と考古資料」

概要：芹沢銈介が収集した考古資料とその見方について、長男であり考古学者でもあった芹沢長介の話を交えて紹介、解説する。

日時：令和元年 11 月 9 日(土) 13:30 - 15:00

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

講師：東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
元学芸員 濱田淑子

料金：100 円

人数：24 人 (定員 60 人)



(3) 展示解説

日程：11/2(土)、11/23(土)

※10/12 は台風 19 号接近で臨時休館
したため中止

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館 2 階 特別・企画展示室

料金：無料 (要観覧料)

人数：17 人

広報・報道

(1) 新聞

・静岡新聞「芹沢銈介収集の考古資料並ぶ」
11/2(火)

(2) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』10月号
・『すろーかる』10月号、11月号

4-4 冬季企画展「古墳のきらめき 賤機山古墳展」

会 期：令和2年1月11日（土）～ 3月1日（日）
 《43日間》

概 要：賤機山古墳は東海地方でも有数の規模を誇る古墳時代後期の古墳で、金属製の馬具などきらびやかなものが多数出土している。賤機山古墳とはどんな古墳なのか、その実態に迫る。

観覧者：3,650人

一 般	2,759人
高校生・大学生	160人
小学生・中学生	731人

点 数：143点

資料協力：掛川市教育委員会
 静岡浅間神社（静岡市文化財資料館）
 富士市教育委員会



印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4
数量：25,130枚
紙質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B1、B2、A2
数量：2枚、750枚、1,560枚
紙質：マットコート紙 四六判 135kg (B1)
 マットコート紙 四六判 110kg

(3) リーフレット

構成：A4 8ページ 中綴じ
数量：1,200部
紙質：マットコート紙 四六判 90kg



連 携：富士山かぐや姫ミュージアム

担当者：梶山倫裕

関連事業

(1) 見学会「賤機山古墳石室見学会」

概要：普段は入ることができない賤機山古墳の石室内を一般に公開する。

日時：令和2年1月26日（日）10:00 - 15:00

会場：賤機山古墳

（静岡市葵区宮ヶ崎町 静岡浅間神社境内）

料金：無料

人数：334人（定員なし）

(2) 講演会「賤機山古墳と駿河の首長」

概要：賤機山古墳と伝法東平1号墳（富士市）に代表される静岡市・富士市の両地域の古墳とその時代の様相を探る。

日時：令和2年2月8日（土）13:30～16:30

会場：清水ふれあいホール（清水庁舎3階）

演題：ア「静岡・清水平野における古墳時代首長層の動向 -前史から読み解く賤機山古墳の性格-」

イ「静岡市賤機山古墳の概要」

ウ「伝法東平1号墳の時代 -富士山南麓における地域開発の胎動」

エ「賤機山古墳と古墳時代後期の駿河」

講師：ア 筑波大学准教授 滝沢誠

イ 元登呂博物館館長 伊藤寿夫

ウ 富士市文化振興課 佐藤祐樹

エ 浜松市文化財課 鈴木一有

料金：無料

人数：166人（定員220人）

連携：富士山かぐや姫ミュージアム

(3) トロベ×ふじかぐちゃん ミュージアムスタンプラリー

概要：富士山かぐや姫ミュージアム企画展「東海の軍を発す」と本企画展を観覧した方に記念の缶バッジを進呈。

料金：無料

連携：富士山かぐや姫ミュージアム

(4) 展示解説

日程：1/12（日）、2/9（日）、2/22（日）

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：119人

広報・報道

(1) テレビ・ラジオ

・NHK 静岡 1/28（火）

(2) 新聞

・静岡新聞「賤機山古墳展の資料展示」1/12（日）

・中日新聞「被葬者の卓越性強調」2/11（火）

(3) 雑誌他

・静岡市広報誌『静岡気分』1月号

・『すろーかる』1月号～2月号

・『すろーかる』1月号（広告）

・JR 静岡駅構内ポスター掲出（1/6～2/2）



4-5 令和2年度春季企画展「お米づくり、はじめました。 -静岡市の弥生時代-」

会 期：令和2年3月20日(金・祝)～6月14日(日)

≪37日間(10日間)≫

※次年度へ継続。()内は令和元年度の日数

※4/18(土)～5/31(日)は新型コロナウイルス
感染症拡大防止により臨時休館

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第二弾。稲作を大きなテーマとして、静岡市の弥生時代を紹介する。

観覧者：1,482人(764人)

一 般 933人(512人)

高校生・大学生 91人(66人)

小学生・中学生 458人(186人)

※()内は令和元年度のみ的人数

点 数：156点



資料協力：静岡県埋蔵文化財センター 静岡大学

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：25,130枚

紙 質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A2

数 量：750枚、1,560枚

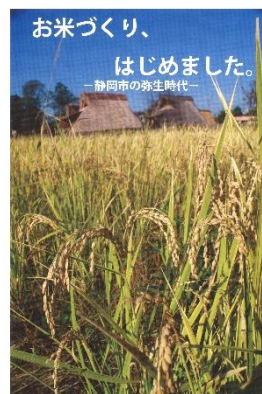
紙 質：コート紙 四六判 110kg

(3) リーフレット

構 成：A4 8頁 中綴じ

数 量：3,000部

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg



担当者：國島朋子

関連事業 ※令和2年度分を含む

(1) 講演会「弥生時代のお米づくりの調べかた」【中止】

概要：発掘調査における時代の特定方法や、稲作跡の調査方法を、放射性炭素年代測定やプラント・オパール分析等の調査方法を交えて紹介する。

日時：令和2年5月24日(日) 13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：株式会社古環境研究所

代表取締役 松田隆二

料金：100円

(2) 種もみ・バケツ稲マニュアルプレゼント

概要：観覧者にバケツ稲の材料となる赤米の種もみと育て方のマニュアルをプレゼント。

日程：会期中の土日・祝日

対象：常設展・企画展両方を観覧した者

料金：無料

人数：442セット（定員なし）

備考：この企画に関連し、令和2年11月1日に「バケツ稲収穫量コンテスト」を開催

(3) 展示解説

日程：3/20(金・祝)、6/14(日)

※4/12(日)、5/2(土)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：47人

広報・報道 ※令和元年度分を含む

(1) テレビ・ラジオ

- ・NHK 静岡 3/21(土) 12:00-、18:45-
- ・東海ケーブルネットワーク 3/24(火) 12:00-、17:00-

(2) 新聞

- ・静岡新聞「弥生人の生活 出土品で紹介」 3/22(日)

・静岡新聞「大自在」3/25(水)

(3) その他

- ・静岡市広報紙『静岡気分』3月号
- ・『すろーかる』3月号～5月号
- ・『すろーかる』3月号（広告）
- ・静岡鉄道電車中吊り広告 (2/29(土)～3/27(金))



4-6 特別展・企画展開催実績（リニューアル後） ※網掛けは特別展

年度	会期	展覧会名	観覧者数
22	2010.10.3～12.5	ひらけ！弥生の扉 弥生人の脳に刻まれた記憶	16,413
	2010.12.18～2011.1.30	うつわ展	4,595
	2011.2.19～3.27	子どもたちの考古学 考古学はじめての一步	5,817
23	2011.4.23～6.19	復元された古代建物 はじまりは登呂遺跡	18,937
	2011.7.9～9.4	登呂遺跡発掘物語 子どもたちに伝えよう登呂遺跡の価値	11,833
	2011.9.23～10.30	発掘された日本列島 2011	8,780
	2011.11.10～12.4	古代へのまなざし 芹沢銈介が愛した縄文・弥生	4,006
	2011.12.17～2012.1.27	弥生ファッションショー	3,766
	2012.2.11～3.20	赤い土器の世界 登呂式土器の赤彩を探る	4,070
24	2012.4.21～7.1	わがまちの遺跡展 登呂のとなりムラ鷹ノ道遺跡	13,877
	2012.7.14～9.23	登呂博物館開館 40 周年記念展 登呂遺跡はじめて物語 ～40 メモリーズ～	12,410
	2012.10.6～12.9	舟の力 ～古代人があこがれたノリモノ～	7,275
24-25	2013.1.12～6.30	米づくりの今昔 ～見て、触って、動かす農具～	29,972
25	2013.7.13～9.23	登呂のうた	8,881
	2013.10.5～12.8	特別史跡登呂遺跡発見 70 周年記念 弥生の戦い ～その時登呂ムラは!?～	5,925
25-26	2014.1.11～6.29	静岡の水田遺跡	23,787
26	2014.7.12～9.28	きっかけは登呂遺跡	9,392
	2014.10.11～12.7	縄文そして登呂 ～八ヶ岳山麓から駿河湾まで～	5,103
26-27	2015.1.17～6.21	祭礼のかたち	20,582
27	2015.7.11～9.23	豊かな水源に生きる	8,767
	2015.10.10～12.7	登呂のいす展	4,261
27-28	2016.1.16～5.29	登呂の食事情	21,211
28	2016.6.18～9.4	重要文化財登呂遺跡出土遺物展	8,983
	2016.9.17～12.4	弥生×登呂	6,949
	2017.1.7～3.5	静岡考古展	4,520
28-29	2017.3.18～6.4	石の刃物 鉄の刃物	13,559
29	2017.6.24～9.3	登呂発掘と静岡市の近現代	8,747
	2017.9.30～11.26	東海土器五十三次展	4,748
	2018.1.6～3.4	こだいの「ふふっ」展	5,011

年度	会期	展覧会名	観覧者数
29-30	2018.3.21～6.10	ウトウ・トロ・タカノミチ	14,025
30	2018.6.30～9.9	富士山がみえる	7,008
	2018.9.29～12.16	平成×登呂	5,155
	2019.1.12～3.3	登呂をとめ 安倍をとこ	3,121
30-31	2019.3.23～6.16	石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－	15,276
1	2019.7.13～9.8	FIRE	6,697
	2019.10.5～12.1	芹沢銈介と考古(学)	4,139
	2020.1.11～3.1	古墳のきらめき ー賤機山古墳展ー	3,650
1-2	2020.3.20～6.14	お米づくり、はじめました。 ー静岡市の弥生時代ー	1,482

4-7 通常展示

(1) 常設展示室（博物館2階）

概要：登呂遺跡にあった集落（ムラ）の生活を紹介する展示室。

平成11年から15年にかけて行われた登呂遺跡再発掘調査の成果を示しながら、ムラを再現したジオラマや、クイズ、映像媒体などを使った直感的な展示を行っている。周辺遺跡の紹介や、日本考古学史上大きな役割を果たした登呂遺跡の発掘調査について、当時発掘にかかわった人々へのインタビュー映像や新聞記事などの資料でわかりやすく伝えている。

また、平成28年に国の重要文化財に指定された出土品も数多く展示されている。

資料：重要文化財登呂遺跡出土品など

点数：約350点



(2) 弥生体験展示室（博物館1階）

概要：登呂博物館の特徴の一つである「体験学習」を行うための展示室。

弥生時代の登呂ムラを再現している。壁に描かれた風景と、復元された住居、高床倉庫、祭殿の3種類の建物、土器や木製品などの道具、そして実際に貫頭衣を来た入館者によって、登呂ムラの様子が復元されている。田植え・田下駄・穂摘みなど、弥生時代の米づくりを模擬的に体験できるとともに、当時使われていた様々な道具を実際に手に取り使用することができる。

室内には、体験指導員や博物館ボランティアが常駐し、来館者の体験補助と説明を行っている。

博物館1階は無料で体験できる。



5 保存活用

5-1 修理事業

(1) 登呂遺跡出土品

登呂遺跡は昭和18年に発見された弥生時代後期の集落跡及びそれに隣接する水田跡を中心とした遺跡。戦後の昭和22年から25年にかけては、各大学の連携による学際的で大規模な調査が行われた。その調査は学史的にも有名なものである。

出土品は、土器と木製品が中心で、これらが「弥生時代の生業や集落の実態を初めて学界に示した遺跡からの出土品で、戦前から戦後にかけての日本考古学の研究史を語るうえで欠かせない資料」として、775点が平成28年に重要文化財に指定された。

(2) 修理概要

出土品は保存処理が行われておらず脆弱な状態のものが多いため、平成30年度から保存修理事業を開始した。まずは14年間をかけて木製品を中心とした459点の修理を行う。

修理は、出土品にとって優しく必要最低限なもので、可逆的な方法で実施する。

所有者：静岡市（実施：静岡市教育委員会）

期 間：平成30年度～令和13年度

費 用：文化庁補助金(1/2)、静岡市(1/2)

対 象：459点

(3) 基本的な修理方法

ア 記録

将来的な再処理も見据えて、事前の記録、処理工程・使用薬剤の記録、事後の記録などを確実にとる。

イ クリーニング

資料に損傷を与えない方法で表面に付着する汚れを除去する。

ウ 安定化处理・修復

基本的に樹脂を含侵させて、資料を強化する。ただし、素材やその状態に応じて処理内容を検討する。

亀裂があるものや折れているものは、樹脂含侵に加えて損傷部の補填・接合を行う。

エ 保存

一部の脆弱な資料について、保存台を作成する。

(4) 平成31年度実績

数 量：43点（保存台8点作成）

修 理：静岡県埋蔵文化財センター

運 搬：ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社中部美術品支店

指導監督：文化庁文化財第一課

経 費：3,529,030円

5-2 資料貸出（出土品等）

（1）貸出先：新潟県立歴史博物館

展示名：「あ、コレ知ってる！ はにわ、どぐう、かえんどきの昭和平成」

期 間：令和元年9月14日(土)～11月4日(月・祝)

対 象：土器、木製品

数 量：19点（重要文化財含む）

（2）貸出先：香川県立ミュージアム

展示名：「日本建築の自画像 探究者たちのもの語り」

期 間：令和元年9月21日(土)～12月15日(日)

対 象：竪穴家屋設計図、復元順序写真

数 量：2点

（3）貸出先：みどり市岩宿博物館（群馬県）

展示名：「岩宿遺跡と日本の近代考古学」

期 間：令和元年10月5日(土)～11月24日(日)

対 象：土器、木製品、調査日誌、サイン帳など

数 量：14点（重要文化財含む）

5-3 寄贈

（1）対 象：登呂遺跡第六次発掘調査実測図青図（昭和40年8月）

数 量：2点

寄贈者：個人

番 号：G I -18

6 教育普及

6-1 主催事業

(1) 登呂遺跡復元水田活用事業（団体水田）

概要：遺跡内にある復元水田を市民団体・学校団体等に貸し出し、赤米などの稲作を行う。弥生時代の景観を復元・維持し、水田での活動を体験する場所を提供する。

期間：平成31年4月～令和元年12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：16団体



(2) 市民水田「登呂遺跡の田んぼで赤米づくり体験」

概要：個人を対象に小区画水田を貸し出し、田起こしから赤米の田植え・脱穀・粃摺りまでの稲作体験を行う。

期間：平成31年4月～令和元年12月

会場：復元水田

料金：3,000円

参加者：27組（定員25組）



(3) 呈茶サービス

概要：静岡ならではの「おもてなし」としてGW期間中の来館者に冷茶をふるまう。

日程：平成31年4月27日(土)～29日(月・祝)、
令和元年5月3日(金・祝)～5日(日・祝)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

人数：5,044人



(4) プラモデル「登呂遺跡」をつくる

概要：登呂遺跡の住居と倉庫のプラモデルをつくる。

日時：令和元年5月12日(日) 10:00 - 15:10

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：体験指導員 巻田直紀

料金：1,100円

人数：7人（定員8人、小学生以上、低学年は保護者同伴）



(5) 田植え・田下駄体験

概要：復元水田に赤米の苗を植える。また、水田で田下駄を履く体験も同時に行う。

日時：令和元年6月8日(土)、9日(日)

会場：復元水田

料金：100円

人数：154人(定員なし)



(6) 登呂遺跡の田んぼで生物観察

概要：復元された登呂遺跡で生物観察を行う。

日時：令和元年7月27日(土) 10:00 - 12:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：100円

人数：18人(定員20人)

協力：常葉大学教育学部 久留戸教授、同研究室学生
静岡市環境学習指導員 守屋司子



(7) 子ども学芸員養成講座

概要：考古学系の学芸員の仕事(発掘・測量・拓本・展示)を体験する。

日程：令和元年7月31日、8月7日、14日(水)(全3回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：300円

人数：9人(定員10人、小学5年生～中学3年生)



(8) 夏休み自由研究お助け隊!

概要：自由研究向けのワークショップを行う。

- ア 気分は学芸員! 拓本体験 (8/7)
- イ プラモデルで登呂遺跡をつくる (8/8)
- ウ みごほうきづくり (8/9)

日時：令和元年8月7日(水)～9日(金)

ア 10:00 - 11:00、13:00 - 14:00

イ 10:00 - 15:10

ウ 10:00 - 11:30、13:00 - 14:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：ア・ウ 100円、イ 1,200円

人数：計74人

ア 41人(定員なし)

イ 8人(定員8人、小学生以上、低学年保護者同伴)

ウ 25人(定員20人、小学生以上、低学年保護者同伴)



(9) とろムラ体験フェスティバル

概要：夏休みの来館者を対象に、火起こし、丸木舟乗船、弓矢等の体験やイベントを行う。

日時：令和元年8月18日(日) 10:00 - 15:30

会場：登呂博物館、登呂遺跡

料金：無料（機織り、土器づくりは100円）

人数：計1,486人



(10) 登呂遺跡で生物観察2 ※新規事業

概要：復元水田でアメリカザリガニを釣る。

日時：令和元年8月24日(土) 10:00 - 12:00

会場：登呂遺跡 復元水田

講師：静岡サイエンスミュージアム研究会 法月秀美
静岡サイエンスミュージアム研究会 川村一彰

料金：100円

人数：19人（定員20人）



(11) へそもちづくり

概要：静岡県の風習で十五夜に供える「へそもち」を、登呂遺跡で収穫した赤米を混ぜてつくる。

日時：令和元年9月8日(日) 10:00 - 11:30、13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：200円

人数：20組59名（定員20組）



(12) 土笛づくり

概要：粘土から整形、乾燥、野焼を行い、土笛をつくる。

日程：令和元年9月15日(日)、10月20日(日)(全2回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

講師：弥生人体験クラブ 後藤昌徳

料金：200円

人数：24人（定員30人）



(13) 登呂遺跡写生大会

概要：秋の登呂遺跡を描いた作品を募集し、4部門に分けて審査・表彰し博物館内に掲示する。

期間：令和元年10月1日(火)～11月10日(日)

会場：登呂遺跡、登呂博物館1階 登呂交流ホール

点数：22点（入賞者12人）



(14) 稲刈り・脱穀体験

概要：石包丁を使った稲刈り（穂摘み）と簡易的な脱穀・粃摺りを体験する。

日時：令和元年 10 月 26 日(土)、27 日(日)、
11 月 2 日(土)～ 4 日(月・祝) 10:00 - 15:00

会場：復元水田

料金：100 円

人数：283 人（定員なし）



(15) しめ縄づくり「お正月は手作りのしめ縄で」

概要：復元水田で収穫した稲の藁でしめ縄を作る。

日時：令和元年 12 月 22 日(日) 10:00 - 12:00

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

講師：増田作一郎

料金：300 円

人数：97 セット約 160 人（定数 100 セット）



(16) お年玉プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡復元水田で収穫した稲穂を小袋に入れたものを配布した。

日程：令和 2 年 1 月 4 日(土)、5 日(日)

場所：登呂博物館 2 階 常設展示室前

料金：無料

数量：1 日目：159 個、2 日目：66 個（定数 300 個）



(17) 田打ち

概要：一年の豊作を祈って行われる予祝儀礼。

日時：令和 2 年 1 月 11 日(土) 10:00 - 10:15

場所：登呂遺跡



(18) どんど焼き

概要：しめ縄づくり体験で作成したしめ縄を焼き上げ、豊穰を祈願する。

日時：令和 2 年 1 月 12 日(日) 10:30 - 11:50

場所：登呂遺跡

料金：無料

人数：200 人（定員なし）



(19) 弥生土器づくり

概要：粘土を積み、野焼きをして弥生土器を完成させる。

日程：令和2年2月1日(土)、2日(日)、3月7日(土)
(全3回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

講師：弥生人体験クラブ 大川洪文

料金：300円(土器づくり) / 100円(ミニチュア土器)

人数：19人(定員20人、小学生以上、低学年は保護者同伴)
63人(ミニチュア土器、定員48人)



(20) 小銅鐸チョコをつくる

概要：型を使って有東遺跡出土の小銅鐸とトロペーの形のチョコレートをつくる。

日時：令和2年2月9日(日) 10:00 - 11:10、13:30 - 14:40

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：300円

人数：15組(定員16組)



(21) 「○から□、杉で柱をつくろう。」

概要：スギの丸太から角材の柱を切り出し、建てる。また、登呂遺跡の柱材がなぜ角材だったのかを考える。

日時：令和2年2月15日(土) 10:30 - 16:00
2月16日(日) 13:00 - 16:00

会場：博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

講師：静岡県埋蔵文化財センター 中川律子

料金：1,500円

人数：7人(定員15人、小学5年生以上)

企画：登呂会議



(22) 木のお皿づくり【中止】

概要：登呂遺跡から出土した皿形木製品に近い形のお皿をつくる。

日時：令和2年3月29日(日) 10:00 - 15:00

会場：体験学習サポート施設

講師：すまうと 野木村敦史

料金：700円

定員：15人(小学4年生以上)

備考：コロナウイルスの影響で中止。

6-2 共催・連携事業

(1) シズオカ×カンヌウィーク登呂会場関連事業

概要：登呂遺跡を「シズオカ×カンヌウィーク 2019」の一会場として提供し、実行委員会がマルシェや夜間の映画上映などを行った。博物館では、関連事業として「トリコロール柄のてるてる坊主づくり」を実施。

日程：令和元年5月11日(土)

会場：登呂遺跡・登呂博物館

料金：200円

人数：20人(定員40人)

連携先：シズオカ×カンヌウィーク実行委員会



(2) 静岡県考古学会講演会

概要：考古学の普及のための公開講演会の開催。

日時：令和元年6月2日(日) 14:30 - 16:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

演題：「縄文時代草創期後葉における定住化の進行と黒耀石製石器の運用」

講師：明治大学黒耀石研究センター 池谷信之

人数：37人(定員なし)

連携先：静岡県考古学会



(3) 登呂 弥生がテーマのファッションショー

概要：弥生時代(2,000年前)のファッションを想像して表現、ショー形式で実施した。

日時：令和元年7月14日(日) 10:00 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

人数：出演者21人、観客約50人

連携先：登呂博物館ミュージアムショップ

(4) 登呂ムラ紙芝居・大型カルタ・すごろく

概要：登呂遺跡を題材とした紙芝居・カルタ・すごろくを使って、遊びながら登呂遺跡を学ぶ機会を提供した。

日程：令和元年8月18日(日)

※「とろむら体験フェスティバル」にて

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

人数：延べ114人

連携先：常葉大学教育学部 Do-ing プロジェクト



(5) 静岡市文化財展

概要：前年度に静岡市内から出土した資料などを展示。
会期：令和元年9月10日(火)～29日(日)
会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー
連携先：静岡市文化財課



(6) 第57回登呂まつり【中止】

概要：登呂遺跡の歴史文化を紹介し、地域の活性化を図るためのまつり。
日程：令和元年10月12日(土)、13日(日)
会場：登呂遺跡
連携先：登呂会
備考：台風19号接近のため中止

(7) スルガフェス in 登呂 ※初開催

概要：駿河区の魅力発信のために、大学生など若者を中心としたイベントを実施。
日程：令和元年10月20日(日)
会場：登呂遺跡
来場者：2,000人(駿河区発表値)
連携先：駿河区役所地域総務課



(8) 静岡県埋蔵文化財センター出張ふじのくに考古展

「静岡市葵区川合遺跡 ～ものづくりの原点～」

概要：静岡市葵区に所在する川合遺跡。弥生時代から古墳時代にかけての大量に出土した木製品や石製品から、古代の「ものづくり」に迫る。
会期：令和元年10月25日(金)～12月1日(日)
会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー
連携先：静岡県埋蔵文化財センター



(9) 「光の遺跡 -登呂遺跡も「夜」美しい-」 ※初開催

概要：芹沢銈介美術館で実施した「光の館」(夜間開館)と連携して、遺跡内にキャンドルを設置した。
日程：令和元年12月20日(金) 18:00 - 20:00
会場：登呂遺跡
連携先：芹沢銈介美術館



(10) 登呂博物館 VI 計画

概要：学生が登呂遺跡・博物館をモチーフにしたロゴやポスターを制作・発表し、交流ホールに掲示した。

日程：令和2年1月16日(木) (発表日)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

参加者：学生約20人

連携先：常葉大学造形学部 杉田研究室



(11) 登呂ミュージアムストリート 2020 ※初開催

概要：三館連携のスタンプラリーを行い、期間中の来館者に記念の缶バッジを渡した。博物館ではミニチュア土器づくりを2回(2/8, 2/22)実施した。

会期：令和2年2月1日(土)～29日(土)

会場：登呂博物館、芹沢銈介美術館、駿府博物館

人数：106人(ミニチュア土器)

108個(缶バッジ、三館合計/先着200個)

連携先：芹沢銈介美術館、駿府博物館



(12) ARTORO

概要：登呂遺跡で活動する市民団体「登呂会議」が企画する各種講座に会場や道具などの面で協力した。

会場：登呂遺跡

期間：平成31年4月～令和2年2月

連携先：登呂会議



6-3 講師派遣・出張講座

(1) 市政出前講座 「静岡市の宝・登呂遺跡 ～充分(重文)知ってる?その魅力～」

概要：静岡を代表する遺跡である登呂遺跡について解説する。

ア 清水エルエヌジー株式会社

日時：平成31年4月25日(木) 16:10 - 17:10

講師：主査 梶山倫裕

人数：60人

イ 不二見生涯学習交流館

日時：令和元年7月10日(水) 9:30 - 11:30

講師：主任主事 鈴木匡

人数：14人

ウ 清沢生涯学習交流館

日時：令和元年 8 月 27 日(火) 9:45 - 11:45

講師：主任主事 國島朋子

人数：10 人

エ 庵原生涯学習交流館

日時：令和元年 9 月 3 日(火) 9:30 - 11:00

講師：主任主事 國島朋子

人数：26 人

オ 介護老人保健施設 萩の里

日時：令和元年 10 月 19 日(土) 14:00 - 15:20

講師：主任主事 國島朋子

人数：18 人

カ 静岡県立こころの医療センター デイケアセンター 【中止】

日時：令和 2 年 2 月 27 日(木) 13:30 - 15:00

講師：主査 梶山倫裕

(2) ほくぶ文化祭・健康まつり

概要：北部生涯学習センターで、ミニチュア土器づくり体験を実施した。

日時：令和元年 7 月 21 日(日) 12:00 - 15:00

会場：北部生涯学習センター

講師：非常勤嘱託 飯島敬三

人数：16 人

(3) 産業フェアしずおか 2019

概要：静岡市の産業をテーマにしたイベントにブースを出展し、ミニチュア土器づくり体験や「弥生人になって記念撮影」を実施した。

日時：令和元年 11 月 23 日(土・祝)、24 日(日) 9:00 - 16:00

会場：ツインメッセ静岡 南館

講師：主任主事 國島朋子ほか

人数：176 人 (ミニチュア土器)



(4) サイエンスピクニック 【中止】

概要：静岡科学館 る・く・るが主催する自然科学分野の団体が集まるイベントにブースを出展予定だった。令和元年度は、土器の施文についての体験を予定していた。

日時：令和 2 年 3 月 7 日(土)、8 日(日)

会場：静岡科学館 る・く・る

講師：非常勤嘱託 巻田直紀

7 職場体験・博物館実習等

7-1 職場体験

中学生の職場体験について、各校おおむね3日程度、一校あたり最大3人で受け入れた。弥生体験展示室での体験補助、屋外体験の補助、登呂遺跡で発見したことの展示ボード作成などの業務を行った。

番号	期間	学校	学年	人数
1	令和元年5月21日(火)～23日(木)	静岡市立大里中学校	2	3
2	令和元年5月21日(火)～23日(木)	静岡市立東豊田中学校	2	3
3	令和2年2月18日(火)～20日(木)	静岡市立東中学校	1	2

7-2 視察等受入

番号	受入日	団体	目的
1	令和元年6月15日(土)	福岡県立アジア文化交流センター (九州国立博物館)	体験学習
2	令和元年12月6日(木)	半田市文化財専門委員	遺跡・施設見学
3	令和元年12月12日(木)	福井市教育委員会	遺跡・施設見学
4	令和2年2月4日(火)	ドイツ大使	遺跡・施設見学
5	令和2年3月18日(水)	山梨県立考古博物館協力会	遺跡・施設見学

7-3 博物館実習

概要：学生を受け入れ、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

期間：令和元年8月16日(金)～22日(木)≪6日間≫

人数：10人(定員10人)

(内訳) 桜美林大学1 京都造形芸術大学1 静岡大学2 清泉女子大学1 専修大学1
都留文科大学1 東海大学2 立教大学1

内容：1日目 概要説明、体験学習
2日目 資料取扱、梱包、写真撮影
3日目 体験イベント補助
4日目 保存処理施設見学、教育普及事業案検討
5日目 展示計画
6日目 展示準備、展示・発表

8 広報

8-1 広報印刷物

(1) 登呂遺跡・登呂博物館パンフレット

登呂遺跡及び登呂博物館の概要を紹介。英語版、簡体字版、繁体字版、韓国語版も用意。

仕様：マットコート紙 四六判 110kg、210×396mm（仕上 210×99mm）、蛇腹折り（四つ折り）



(2) 登呂遺跡イラストマップ

わかりやすいイラストで登呂遺跡を紹介。

仕様：上質紙 四六判 70kg、A4判（両面印刷）



(3) 年間スケジュール

仕様：マットコート紙 四六判 90kg、A4判（三つ折り）

部数：20,000部

備考：A3判の紙を使い、裏面には芹沢銈介美術館の年間スケジュールを掲載。（今回から）



(4) その他

各種教育普及事業のチラシを適宜作成し、館内に配架したほか、市内小中学校や公共施設等に発送。

8-2 ウェブサイト・SNS

(1) 登呂博物館ホームページ

平成 22 年度より運用を行ってきた登呂博物館のホームページを一新。令和 2 年 1 月に新しいホームページを公開した。登呂博物館及び登呂遺跡の概要や利用案内、アクセス方法等のほか、各企画展やイベントの情報、お知らせ等を配信する。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp)



(2) こどもトロベーパーク

令和 2 年 3 月、登呂遺跡の概要を小学生にもわかりやすく説明するウェブサイト「こどもトロベーパーク」を公開した。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp/torobepark-info/)



(3) 登呂博物館 Twitter

登呂博物館の公式 Twitter アカウントを開設。令和元年 10 月より投稿を開始した。登呂博物館で行われる企画展やイベントに関する最新情報のほか、登呂遺跡の日常風景等を主に写真付きで配信する。(https://twitter.com/torohaku_torobe)



8-3 報道・広告等

(1) テレビ・ラジオ

- ・区役所内広告付き窓口案内表示にて企画展やイベント情報を放映
- ・トコちゃんねる静岡『トコちゃんワイド』「地域の話題」6/12、13
- ・FM-Hi!「ひるラジ! 静岡情報館」街角レポート(夏季企画展)7/12
- ・FM-Hi!「静岡ドライブインフォメーション」『Cha!Cha!サタデー』(夏季企画展)8/3
- ・NHK 静岡『NHK たっぷり静岡』「み〜つけた!」8/9
- ・SBS 静岡放送『静岡発!そこ知り』9/24、12/30
- ・静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか』「水曜パネルタイム」10/9
- ・毎日放送『ちちんぷいぷい』「東海道五十三次」11/28
- ・NHK 静岡(冬季企画展)1/28
- ・静岡第一テレビ『静岡ダイスキ TV』2/13
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』2/19
- ・NHK 静岡(令和2年度春季企画展)3/21
- ・東海ケーブルネットワーク(令和2年度春季企画展)3/24

(2) 新聞

- ・朝日新聞 春季企画展講演会告知記事 4/11
- ・静岡新聞「きょうからカンヌウィーク マルシェや野外上映」4/27
- ・毎日新聞「「遺跡プラモデル」に挑戦(プラモデルづくり)5/13
- ・静岡新聞「登呂遺跡“組み立て”」(プラモデルづくり)5/14
- ・静岡新聞「深鉢形土器や石皿 古代の生活感じて」(春季企画展)5/19
- ・静岡新聞「弥生時代の稲作を学ぶ」(田植え体験)6/11
- ・静岡新聞「大自在」(夏季企画展)7/13
- ・静岡新聞「弥生ファッションショー」(ファッションショー)7/17
- ・静岡新聞「稲わら使いほうき作り」(自由研究お助け隊)8/11
- ・静岡新聞「ミニ土器づくりや丸木船乗船体験」(とろむら体験フェスティバル)8/19
- ・静岡新聞「水田に「トロペー」出現」9/4
- ・静岡新聞「登呂地区の魅力 発掘して」(スルガフェス)9/21
- ・静岡新聞「駿河区の魅力 再発掘」(スルガフェス)10/21
- ・静岡新聞「芹沢銈介収集の考古資料並ぶ」(秋季企画展)11/2
- ・朝日新聞「「古代米」石包丁で刈り取り」(稲刈り体験)11/5
- ・夕刊桐生タイムス「69 戦後考古学の出発 -登呂遺跡と岩宿遺跡-」(「日本のあけぼの 岩宿博物館だより」より)11/9
- ・静岡新聞「変わる弥生人研究」(「窓辺」より)11/18
- ・静岡新聞「思い出.zip File.8 登呂遺跡」12/16
- ・静岡新聞「登呂遺跡に柔らかな光 手作り土器でライトアップ」(光の遺跡)12/21
- ・静岡新聞「総入館者数 3864 人増 登呂博物館 19 年度前半実績報告」(博物館協議会)12/27
- ・読売新聞「厭われ 愛され 生活と共に」(「百鼠考 中」より)1/7

- ・静岡新聞「賤機山古墳展の資料展示」(冬季企画展) 1/12
- ・中日新聞「被葬者の卓越性強調」(冬季企画展関連講演会) 2/11
- ・静岡新聞「弥生人の生活 出土品で紹介」(令和2年度春季企画展) 3/22
- ・静岡新聞「大自在」(令和2年度春季企画展) 3/25

(3) 雑誌等

ア 有料広告

- ・『るるぶ 夏休みこどもとあそぼ! 首都圏'19』(5/1)
- ・JR 静岡駅駅貼りポスター (7/1~7/28、1/6~2/2)
- ・『すろーかる』(7月号、10月号、1月号、3月号)
- ・『縄文 ZINE 第10号』(7/13)
- ・『すろーかる』11月号 特集「アートとデザイン」
- ・『冬びあ 2019 首都圏版』(11/1)
- ・「2020 静岡市成人式パンフレット」(1/3配布)
- ・『こどもとおでかけ 365日 首都圏版』(1/28)
- ・『縄文 ZINE 第11号』(2/10)
- ・静岡鉄道駅貼りポスター (2/29~3/27)
- ・久能山東照宮案内板
- ・「わお! マップ 静岡市エリア」(2月初旬)

イ 無料広告・掲載(主なもの)

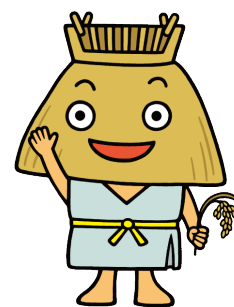
- ・『秋びあ 東海版』(びあ)
- ・『まっふる静岡'20』(昭文社)
- ・『こどもとおでかけ 365日 2019-2020 東海版』(びあ)
- ・『日帰りドライブびあ 2020-2021 静岡版』(びあ)
- ・『すろ〜かる』(すろーらいふ)
- ・「広報しずおか 静岡気分」(静岡市広報課)
- ・「しずおか東海道まちあるきガイドブック 2020」(静岡市観光・国際交流課)
- ・「ぶちりよこ静岡」(するが企画観光局)
- ・「しずおか文化財ウィーク 2019 イベントガイド」(静岡県文化財課)
- ・『GRANSHIP』(静岡県文化財団)
- ・『静岡の博物館』(静岡県博物館協会)
- ・『博物館研究』(日本博物館協会)
- ・「タウン新聞しずおか」『リビング静岡』(静岡リビング新聞社)
- ・「静岡駅周辺のご案内」(ゼンリン)
- ・「SENSE」(アール・アンド・エム)
- ・「訪日向け 1day 静岡浜松」(JR 東海ツアーズパンフレット)
- ・『AERA with Kids 2019 夏号』(朝日新聞出版)
- ・『partner 2019年 7-8月号』(三菱 UFJ ニコス会員誌)
- ・「お母さん業界新聞静岡 Vol.52」(2月)
- ・「お母さん業界新聞静岡 Vol.53」(3月)

(4) ウェブサイト・その他（主なもの）

- ・登呂博物館ホームページ
- ・静岡市ホームページ、静岡市 Facebook、静岡市 Twitter
- ・「駿府静岡市」（するが企画観光局）
- ・アトリエふじのくに（静岡県文化政策課）
- ・ハローナビしずおか（静岡観光協会）
- ・「まなぼっと」（静岡県総合教育センター）
- ・ふじのくに文化情報センター（静岡県文化財団）
- ・「しずはく.net」（静岡県博物館協会）
- ・日本博物館協会ホームページ
- ・日本考古学協会ホームページ
- ・「@S（アットエス）」（静岡新聞 SBS）
- ・Internet Museum（丹青社）
- ・artscape（大日本印刷）
- ・Dokka！おでかけ探検隊
- ・「発掘された日本列島 2019」に登呂遺跡のプラモデル（フジミ模型製）を出品
- ・「しずっ子 Tuber 登呂遺跡編」（静岡新聞）
- ・静岡県地震防災センター メインテーマシアター（センターリニューアルに伴う撮影）
- ・『銀シャリ YouTube 公式チャンネル』8/21 公開

8-4 トロペー

平成 22 年の登呂博物館リニューアルに向けて、デザイン及び愛称を公募して平成 21 年に誕生した登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター。平成 29 年 1 月に駿河区応援隊長にも就任し、登呂遺跡・登呂博物館だけでなく静岡市駿河区全体の PR 活動を行っている。



名前：トロペー

由来：登呂遺跡の「トロ」とおコメ（米）の「ベイ」から

肩書：登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター兼駿河区応援隊長

活動：博物館内における来館者とのふれあいの他、広報媒体や各種イベントに掲載・出演し、登呂遺跡・登呂博物館を宣伝している。

活用：平成 25 年度から静岡大学登呂博物館ボランティア「STV」がトロペーを活用する活動を開始。

平成 29 年 1 月 24 日には「駿河区応援隊長」に任命され、駿河区地域総務課が主体となり、駿河区のイメージキャラクターとしても活動している。

平成 30 年度には静岡市内にある城南静岡高校（駿河区南八幡町）の「地域貢献部」が、トロペー出演を含むボランティア活動を始めた。

登呂遺跡・登呂博物館での出演

番号	出演日	出演イベント	備考
1	H31.4.28	博物館内トロベール出演	城南静岡高校地域貢献部
2	R1.5.11	シズオカ×カンヌウィーク 2019	STV、城南静岡高校地域貢献部
3	R1.7.14	ファッションショー	職員
4	R1.8.18	とろムラ体験フェスティバル	STV

活用状況 (駿河区地域総務課が窓口となったものは含まない。)

番号	出演日	出演イベント	出演場所
1	R1.9.8	静岡ふれあい広場	青葉シンボルロード
2	R1.9.28~29	地域伝統芸能全国大会	奈良県橿原文化会館・ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県橿原市)
3	R1.10.9	「とびっきり!しずおか」	静岡朝日テレビ
4	R1.10.17	児童との記念撮影	静岡中央特別支援学校
5	R1.11.23	第12回駿河ふれあい福祉フェスタ	南部ふれあい公園
6	R1.11.30	Voice of しずおか市民討議会 2019	茶木魚
7	R2.3.13~3.15【中止】	静岡おでん祭	青葉シンボルロード
8	R2.3.21【中止】	全日本少年春季軟式野球大会	県営草薙総合運動場



9 その他

9-1 博物館ボランティア

平成7年の活動開始以来、団体見学者の引率、体験展示室での説明補助、イベント補助などの活動を行ってきている。原則、毎月一回、博物館職員を交えた「ボランティア連絡会議」を開催している。

(1) 活動内容 ()内はボランティアの参加者数

月	会合	研修等			講座・イベント支援
		展示解説	米づくり	その他	
4月	会議 (16)			トリコロールてるてる坊主づくり研修 (6)	
5月	会議 (11)		田起こし(4)		てるてる坊主(8)
					プラモデル(1)
6月	会議 (11)		代掻き・ 田植え(7)		
7月	会議 (16)	夏季企画展「FIRE」(11)	草とり①(4)		ファッションショー(10)
8月	会議 (7)		草取り②(5)	みごほうきづくり研 修(7)	夏休み自由研究お助け隊 (計14)
					とろフェス(20)
9月	会議 (18)			土笛づくり研修(7)	土笛づくり①(5)
10月	会議 (18)	秋季企画展「芹沢銈介と考 古(学)」(22)	稲刈り(16)		土笛づくり②(4)
					稲刈り体験(1)
11月	—		脱穀・もみすり (7)	施設見学研修(吉胡 貝塚資料館・のんほ いパーク)(23)	稲刈り体験(1)
12月	会議 (16)			しめ縄づくり研修 (10)	しめ縄づくり(17)
1月	会議 (17)				どんど焼き(6)
					冬季企画展「古墳のきら めき」出土品解説(16)
2月	会議 (16)			ボランティア交流会 (17)	土器づくり①(7)
					ミニチュア土器づくり (2)
					小銅鐸チョコづくり(6)
3月	【中止】				土器づくり②(6)

(2) 登録者数：46人（平成31年4月1日時点。前年同時期47人）

(3) 平均活動人数：1日平均6.4人（前年度と同数）

(4) 新規ボランティア募集状況

ア 応募人数：12人

イ 募集期間：令和元年8月1日～8月31日

ウ 事前研修：下記研修日程表のとおり（研修日は各回どちらか1日を選択）

回数	日時	研修内容
1	9/15(日) 10:00 - 12:00	・土笛づくり体験①見学
2	9/27(金)・9/29(日) 9:30 - 12:00	・ガイダンス（ボランティア体制、館概要、接遇） ・常設展示室・体験展示室の説明
3	10/5(土) 11:00 - 12:00、14:00 - 15:00	・企画展展示解説
4	10/17(木)、20(日) 9:30 - 12:00	・登呂遺跡（遺跡の概要、遺跡案内研修）

(5) 城南静岡高校ボランティアの活動

平成30年度から静岡市内にある城南静岡高校で「地域貢献部」が発足し、団体ボランティアとして登呂博物館で活動している。週末に体験展示室での体験補助や、夏休みのイベント等に参加・活動している。

部員数：18人（平成31年度） ※この人数は（2）の「登録者数」には含まない。



9-2 博物館協議会

博物館法第20条第1項及び静岡市博物館条例第11条第1項の規定に基づき、登呂博物館に「静岡市立登呂博物館協議会」を置いている。なお、博物館協議会は博物館法第20条第2項において「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関」と定められている。

(1) 委員名簿 (◎会長)

ア 任期 平成29年8月1日から令和元年7月31日まで (平成31年4月1日時点)

選出区分	氏名	職業・役職
学校教育関係者	北川 和彦	静岡市立南部小学校長
学校教育関係者	杉山 昌之	静岡市立清水第五中学校長
社会教育関係者	海野 美枝	HITS ファシリテーション代表
社会教育関係者	弓削 幸恵	NPO 法人「まちなびや」理事長
家庭教育関係者	藤田 三佐子	静岡市立小中学校 PTA 連絡協議会顧問
◎学識経験者	石川 宏之	静岡大学大学院融合・グローバル領域 地域創造教育センター准教授
学識経験者	山岡 拓也	静岡大学人文社会科学部 (考古学) 准教授
学識経験者	渋江 かさね	静岡大学教育学部大学院教育学研究科准教授
市民	杉山 美代子	市民公募委員
市民	石亀 雅敏	市民公募委員

イ 任期 令和元年8月1日から令和3年7月31日まで (令和2年3月31日時点)

選出区分	氏名	職業・役職
学校教育関係者	北川 和彦	静岡市立南部小学校長
学校教育関係者	杉山 昌之	静岡市立清水第五中学校長
社会教育関係者	海野 美枝	HITS ファシリテーション代表
社会教育関係者	弓削 幸恵	NPO 法人「まちなびや」理事長
家庭教育関係者	木村 貴子	静岡市立高松中学校 PTA 会長
◎学識経験者	山岡 拓也	静岡大学人文社会科学部 (考古学) 准教授
学識経験者	渋江 かさね	静岡大学教育学部大学院教育学研究科准教授
学識経験者	堀切 正人	常葉大学教育学部准教授 常葉美術館館長
市民	石亀 雅敏	市民公募委員
市民	上原 薫	市民公募委員

(2) 平成 31 年度協議会開催実績

ア 第 1 回

日 時：令和元年 6 月 25 日(火) 10:00 - 12:00

会 場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

出席者：7 人

傍聴者：0 人

内 容：(1) 博物館の概要について

(2) 平成 30 年度の事業報告について

(3) 令和元年度の事業について

(4) 議題「子ども世代への、登呂、考古学、文化の魅力を継承するための、登呂博物館における課題の解決策について」

イ 第 2 回

日 時：令和元年 12 月 25 日(水) 14:00 - 16:00

会 場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

出席者：9 人

傍聴者：0 人

内 容：(1) 博物館施設視察

(2) 令和元年度前半の事業報告について

(3) 令和 2 年度の事業方針について

(4) 議題「登呂遺跡を誇りに思う市民を育む登呂博物館運営の在り方について」

10 利用案内

(1) 開館時間

9:00 - 16:30 (博物館)、遺跡は24時間オープン

(2) 休館日

月曜日 (休日の場合は開館)、休日の翌日、12月26日から1月3日 ※臨時開館・閉館する場合あり

(3) 観覧料 (通常期：令和2年4月1日時点) ※博物館1階は無料でご利用いただけます。

区分	一回	団体※ ¹	回数券※ ²	共通券※ ³	団体共通券※ ^{1,3}
一般	300円	220円	1,400円	580円	460円
高校生・大学生	200円	150円	930円	360円	280円
小学生・中学生	50円	40円	230円	120円	90円

※1 「団体」は有料観覧者30名以上の団体

※2 「回数券」は5枚綴り

※3 「共通券」は登呂博物館に隣接する静岡市立芹沢銈介美術館との共通観覧券

ただし、以下の者は観覧料を無料とします。

ア 静岡市内に居住する70歳以上の者

イ 静岡市内に居住し、又は通学する小学校の児童及び中学校の生徒 (これらに準ずる者)

ウ 未就学児

また、学校団体の見学、身体障害者手帳等の交付を受けた方とその同伴者1名など、観覧料の免除となる場合があります。詳細は登呂博物館にご確認ください。

(4) アクセス

ア バス JR静岡駅南口から10分 しずてつジャストライン石田街道線「登呂遺跡」行き終点下車

イ 自動車 (ア) 東名高速道路 静岡ICから10分

(イ) 東名高速道路 日本平久能山スマートICから10分

ウ 駐車場 博物館南側 (東名高速道路側道北側) に有料駐車場あり (普通車一回400円)

(5) 音声ガイド

常設展示室及び復元建物に音声ガイドを整備しています。専用のスマートフォンで利用できます。

ア システム 「pitatto」(ノムラテクノ株式会社)

イ 言語 日本語、英語、中国語 (文字は簡体字)、韓国語

ウ 設置箇所 15 (博物館内11、復元建物4)

エ 利用方法 専用のスマートフォンを博物館内で貸し出ししています。

オ 導入日 平成30年4月24日

静岡市立登呂博物館 館報 第26号（平成31年（令和元年）度）

発行日：令和2年7月21日

編集発行：静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466

torohaku@city.shizuoka.lg.jp <https://www.shizuoka-toromuseum.jp>